

勾玉教室

勾玉をつくろう!

日時 ①7月19日(土) ②8月9日(土)
13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込 ①7月12日(土) ②8月2日(土)
10:00から電話で申込み



体験教室

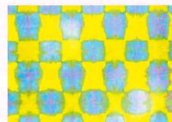
プラ板で古墳のキーホルダーをつくろう!

日時 7月20日(日) 13:30~15:30
対象 小学生以上
定員 10名(先着順)
参加費 100円
申込 7月13日(日) 10:00から電話で申込み



和紙初め体験

日時 8月31日(日) 13:30~15:30
対象 小学生以上
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込 8月24日(日) 10:00から電話で申込み



考古学教室

どうくしろ

銅釧(古代の腕輪)をつくろう!

日時 7月27日(日) 13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 500円
申込 7月20日(日) 10:00から電話で申込み



埴輪・土器をつくろう!

日時 8月10日(日) 13:30~16:00
対象 小学生・中学生
定員 15名(先着順)
場所 寺田コミュニティセンター美術工芸室
講師 志津川陶芸教室
参加費 1,000円
申込 8月3日(日) 10:00から電話で申込み



和同開珎をつくろう!

日時 8月17日(日) 13:30~15:30
対象 小学生・中学生
定員 10名(先着順)
参加費 200円
申込 8月10日(日) 10:00から電話で申込み



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。
「五里五里の里」の「ごり」とその語感が
らゴリラをキャラクター化したものです。
古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古
墳時代を思わせる姿になっています。

★印は観覧無料!!!

■開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
12月28日~1月4日

■観覧料 おとな 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
＜団体料金＞おとな 160円(110円)
小・中学生 80円(50円)
※団体は20名様以上
※()内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料



HPはこちら

＜次の方は観覧料が免除されます＞

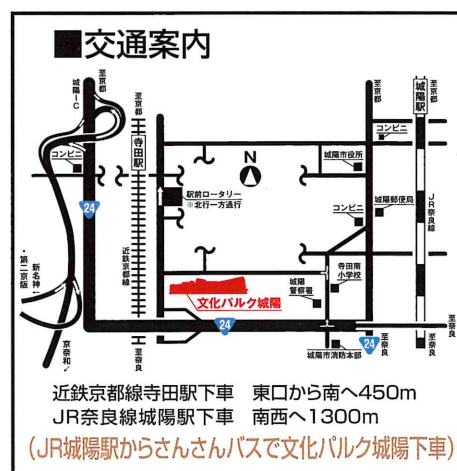
- ★城陽市内在住の65歳以上の方
- ★城陽市内在住の小・中学生
- ★城陽市内在住の身体障害者手帳等をお持ちの方
- ★城陽市外の小・中学校の団体観覧(ただし、児童・生徒のみ)

夏季特別展
スタート!

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

夏季特別展
最終日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



五里ごり館
開館カレンダー
印は休館日



JOYO
エデュケーション

文化パルク城陽開館30周年記念
令和7年度夏季特別展

鉄道の旅と食



祝開通特製お弁当 駅弁掛紙 昭和50年(1975年)
京都鉄道博物館蔵・提供



食堂車 絵葉書 昭和10年(1935年)頃
京都鉄道博物館蔵・提供



車内駅名案内表示幕 大正末期~昭和初期頃
近鉄グループホールディングス株式会社蔵



マッチラベル 当館蔵



近鉄創業百周年記念 大軌デボ1形 平成26年(2014年)
近鉄グループホールディングス株式会社蔵



奈良電車沿線案内 昭和3年(1928年) 近鉄グループホールディングス株式会社蔵

鉄道模型(Nゲージ) 走行実演

日時 8月11日(日)・24日(日)
1回目 13:30~14:15
2回目 15:00~15:45

場所 特別展示室
費用 無料(観覧料必要) ※事前申込不要

自分のNゲージ車両を走らせよう!

展示室のレイアウトで自分のNゲージ車両を走行できます。

日時 8月1日(金)~23日(土) 10:30~16:00

場所 特別展示室

費用 無料(観覧料必要)

申込 7月25日(金) 10:00から電話申込

※上記期間中、1組につき1時間(Nゲージ車両持参)

※休館日、イベント実施日は除く。詳しくはお問い合わせください。

令和7年 7月19日(土)~8月24日(日)

最終日 8月24日(日)は観覧無料

期間中休館日 7月22・23・28日、8月4・12・13・18日

鉄道の旅

鉄道はその土地の景観をゆっくり眺めながら目的地まで連れていってくれる優れた移動手段です。そして徐々に車両や鉄道網が充実していくと、遠方にでかける「鉄道旅行」が誕生し、個人旅行から学校や会社などの団体旅行まで、あらゆる旅行が盛んになりました。また、自動車や航空機を移動手段とすることが一般化していくとともに、あえて鉄道で旅行することに興味を抱く人たちが登場してきました。それでは、かつての人々はどのような鉄道の旅をしていたのでしょうか。さまざまな資料から鉄道旅行をみていきましょう。

鉄道の食

今でこそ、鉄道に乗れば長くても1日程度で目的地に到着しますが、かつては一晩中乗り続けてようやくたどり着くことも珍しくありませんでした。そうすると旅行客は鉄道のなかで食事をしなければなりません。まず思いつくのは列車にある食堂車、つぎに駅構内や車内で販売される駅弁です。では、旅の楽しみのひとつであった鉄道での食事はどのようなものだったのでしょうか。鉄道における食文化を紐解いてみましょう。

Nゲージ 鉄道模型 走行展示



「車窓展望」1958年11月号
昭和33年(1958年) 京都鉄道博物館蔵・提供



「トラベルフォトニュース」通巻123号 「団体旅行に“お座敷車”」
昭和35年(1960年) 京都鉄道博物館蔵・提供



観光特急「しまかぜ」
田部富男氏撮影・提供



観光特急「青の交響曲」
林基一氏撮影 近鉄グループホールディングス株式会社提供



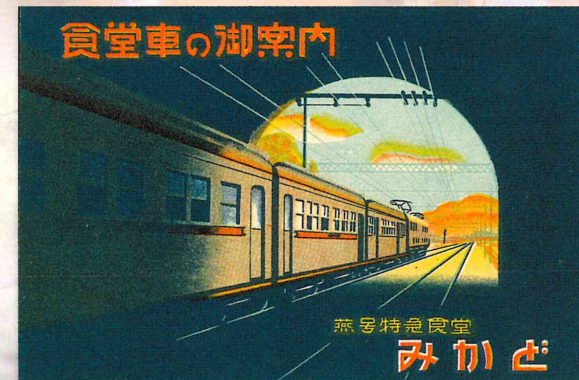
特急「ひのとり」
林基一氏撮影
近鉄グループホールディングス株式会社提供



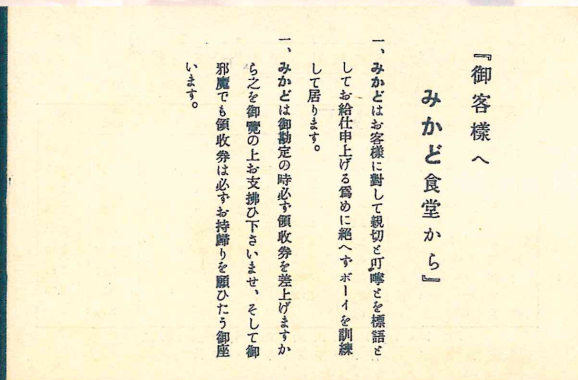
観光特急「あをによし」
田部富男氏撮影・提供



修学旅行専用列車「きぼう」
昭和39年(1964年) 京都鉄道博物館提供



「食堂車の御案内」
昭和前期 京都鉄道博物館蔵・提供



特急「富士」食堂車夕食メニュー(食品サンプル)
昭和初期 京都鉄道博物館蔵・提供



駅弁立売箱
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供



汽車土瓶とプラスチック製のお茶容器
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供



食堂車ウエイトレス制服
昭和初期 京都鉄道博物館蔵 提供



竹皮のおにぎり(食品サンプル)
年代不明 京都鉄道博物館蔵・提供

特別展示室中央に
Nゲージ
鉄道模型の
レイアウトを
展示します。

Nゲージ鉄道模型とレイアウト (橋本彰一氏蔵)